

MUSCAT PHARMACY

CSR REPORT

2017

2017年7月1日～2018年6月30日



株式会社ムスカット薬局

理念



命ある企業

私たち薬局の仕事は、地域の人々が健康になるために貢献していくことが使命であります。

健康、即ち「人間の命」を大切にしていこうことを目指していく組織でなければいけません。組織を機械のように捉え、社員一人ひとりを機械の歯車として捉えるような冷たい関係ではなく、社員一人ひとりを人間の身体の細胞・臓器と捉えるような温かい血の通った関係の組織を理想とします。

私たち人間の身体には、約60兆の細胞で出来ています。その60兆の細胞は、一つひとつが違い、同じ細胞はありません。また、一つひとつの細胞があたかも自由で、意志を持っているかのように、外部から病原菌が侵入してきたら命を守るために戦うのです。もちろん、身体も各細胞に温かい血

液・栄養を送り、組織を守り続けるのです。

世の中には一人として同じ人間はいません。多様な個性の人たちが企業を構成しています。そして組織を支える仕組みは、いのちを支える仕組みと全く同様であります。会社がひとつの意志をもった生命体だと言う考え方が、わが社の経営理念である「命ある企業」であります。

目的

マスカット薬局は、地域の一人ひとりの生命・健康を守るため、主体性をもって社会貢献する。

CSRレポート編集方針

私たちは、経営理念のもと、目的の実現に向け、日々の事業活動を行っています。

その報告書として、本CSRレポートの制作にあたり、世界のすべての団体に適用可能な社会的な責任の国際規格『ISO26000』を手引きとして活用しています。

そして、同規格のガイドラインに従い以下の7つの原則に則っています。

《 7つの原則 》

- 説明責任
- 倫理的な行動
- 法の支配の尊重
- 人権の尊重
- 透明性
- ステークホルダーの利害の尊重
- 国際行動規範の尊重

私たちの活動を以下7つの中核課題に分類し、6つのカテゴリーに整理し、編集しています。

《 7つの中核主題 》

- 組織統治
- 人権
- 労働慣行
- 環境
- 公正な事業慣行
- 消費者課題
- コミュニティへの参画

マスカット薬局CSRレポート 6つのカテゴリー

- 組織統治（私たちの組織運営）
- 人権、労働慣行（健全な企業風土づくり・働きやすい職場づくり）
- 環境（地球環境負荷低減のために）
- 公正な事業慣行（信頼される薬局を目指して）
- 消費者課題（かかりつけ薬剤師・かかりつけ薬局を目指して）
- コミュニティへの参画（地域の健康を守るために）

目次 (CONTENTS)

01 会社理念、目的、CSRレポート編集方針

02 目次 (CONTENTS)

03 会社方針

05 マスカット薬局 トップメッセージ

06 会社概要

07 特集1 イノベーションの歴史

09 特集2 薬局へ行こう！ウィーク

11 特集3 ドイツ薬学視察2018

13 特集4 2018年6月期学会発表

15 私たちの組織運営（組織統治）

17 健全な企業風土づくり（人権・労働慣行）

19 働きやすい職場づくり（人権・労働慣行）

23 かかりつけ薬剤師・かかりつけ薬局を目指して（消費者課題）

31 信頼される薬局を目指して（公正な事業慣行）

33 地球環境負荷低減のために（環境）

35 地域の健康を守るために（コミュニティへの参画）

39 第三者意見

40 沿革

5つの基本方針

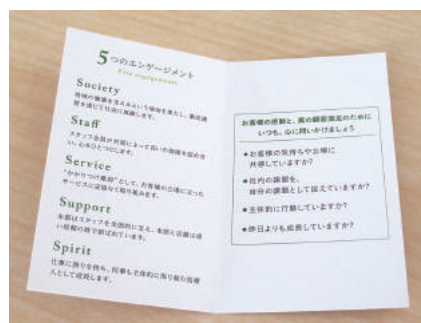
1. 店舗と本部の信頼関係
2. 店舗内の信頼関係
3. 顧客満足
4. 社員満足
5. 人材育成

エンゲージメント

エンゲージメントというのは、誓い・約束という意味があります。

マスカット薬局のエンゲージメントは、理念・目的・5つの基本方針から成り立っています。職員はいつもこのエンゲージメントを身につけ、自分の役割・使命は何かを問い直し、振り返り、そして行動をしています。

エンゲージメント冊子



ロゴマーク



この地球で私たち人間が生き続け、そして進化・発展していくためにはなくてはならないものの1つが太陽です。マスカット薬局は、地域の皆様に、温かい光を惜しみなくサンサンと降り注ぎます。地域の健康を、太陽のように温かく見守って、地域の人たちに頼りにされ、信頼される薬局を目指していくシンボルです。

缶バッジ



わが社の理念・目的・5つの基本方針を地域の方々に伝えていく手段として全職員がこの缶バッジを胸につけています。

これからの企業には、地域の方々に企業の思いを伝えることが求められています。企業の思いが伝わった時、はじめて信頼関係が確立し、地域になくてはならない企業として認められ、受け入れられると考えています。

3年後のビジョン(2016年度-2018年度)

1. 健康サポート薬局としてセルフメディケーションの支援
2. かかりつけ薬剤師・薬局の役割
3. 組織化した人材育成

マスカット薬局のSDGsへの貢献



SDGs とは、「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」のことです。

世界全体で2030年を目指して 環境・経済・社会についての問題を解決し、明るい未来を作るために17のゴールと169のターゲットで構成されています。

SDGs は、政府や自治体だけでなく、企業やNPO/NGO、一般市民の主體的な行動や連携によって課題を解決する事が求められています。

マスカット薬局の取り組み

私たちマスカット薬局も、岡山の地元企業として、SDGs の達成に寄与していくことを目指しています。Think-Globally、Act Locally(シンク・グローバリー、アクト・ローカリー)。

「地球規模で考え、地元の課題を見つめ、足元から行動する」

『地域の一人ひとりの生命・健康を守るために』私たちは、事業を展開しています。そして、5つの基本方針に基づき、地域に根差した事業課題をSDGs と関連付け、10のテーマとして整理しました。





2回のドイツ視察は、社内だけに留まらず、全国的な取組みにもつながっています。

そのきっかけは、2017年に薬局をバックアップするクラスAネットワークが、全国から保険薬局の経営者10人ほどを集めた会議に高橋が出席したことでした。その席で、調剤はもちろん地域の人々の健康をトータルにサポートする薬局を増やしていくための方策が議題に上がった際に、ドイツの「薬局の日」のようなイベントを全国でいっせいに開催してみたらどうかと提案したのです。

なお、マスカット薬局で2冊目となるこのCSRレポートは、地域の人々の健康寿命を伸ばすことを使命とする私たちが、薬局・薬剤師としての社会的責任を果たすために日々行う、業務や活動を具体的にまとめたものです。それらを礎とし、さらに地域のために必要とされる、より地域の人々に頼りにされる存在を目指し続けることを誓うとともに、ご報告いたします。

株 式 会 社	マスカット薬局
住 所	〒701-1154 岡山県岡山市北区田益 1290-1
代表取締役	高橋 正志
設 立	1998 年 8 月
資 本 金	1,000 万円
売 上 高	2017 年度実績 30 億円
社 員 数	106 名（うち薬剤師 56 名）2018 年 6 月 30 日現在
事 業 内 容	■薬局 ■保険調剤（各種保険取り扱い） ■一般用医薬品販売
店 舗	■本店（国立病院前） ■日本原店 ■奈義店 ■高梁店 ■総社店 ■備前店 ■湊店 ■倉敷店 ■湯郷店 ■一宮店 ■庭瀬店 ■東古松店 ■しもまち薬局 ■穂浪店

特集1 イノベーションの歴史



ムスカット薬局
MUSCAT PHARMACY

ムスカット薬局イノベーションの歴史

何故イノベーションが企業に求められているか！

イノベーション(抜本革新)する企業は「過去の延長線上に未来はない」という価値観があります。過去と同じことの繰り返しでは、企業の存続はありません。そこで、わが社は組織を根底から変えるイノベーションを決断し実践しています。

第1期 抜本改革報告(イノベーション)

2009年4月5日 セとうち児島ホテル

- 理念・目的発表
理念『命ある企業』
目的『ムスカット薬局は、地域の一人ひとりの健康を守るため、主体性をもって社会貢献する』

第2期 抜本改革報告(イノベーション)

2010年4月18日 ロイヤルホテル

- 5つの基本方針発表
 1. 店舗と本部の信頼関係
 2. 店舗内の信頼関係
 3. 顧客満足
 4. 社員満足
 5. 人材育成

第3期 抜本改革報告(イノベーション)

2011年12月18日 ムスカット薬局 本部 ムスカットホール

- 目標管理発表(全店舗・全チーム)
- エンゲージメント・ロゴマーク・缶バッジ作成

第4期 抜本改革報告(イノベーション)

2012年11月11日 ムスカット薬局 本部 ムスカットホール

- 3年後のビジョンと戦略発表(2012年度)
 - 1.地域の健康管理・健康増進に関わるため、セルフメディケーションの推進
 - ・僻地のため買い物困難な方に医薬品・介護用品・生活用品の配達
 - ・生活習慣病の予防のための相談・指導(講演・健診事業など)
 - ・健康まつり
 - ・児童生徒の健康教育 など
 - 2.全店舗が在宅医療へ参加
 - ・医療提供施設・介護福祉施設・行政との連携
 - ・バイタルサインの実践 など
 - 3.人材育成
 - ・専門薬剤師の育成
 - ・家庭医療専門薬剤師の育成(奈義ファミリークリニック・就実大学との連携)
 - ・生涯学習の徹底(日本薬剤師会生涯学習システムなど活用)
 - ・幹部社員の育成(アセスメント・IG)
 - ・事務職の育成(研修会・教育制度) など

第5期 抜本改革報告(イノベーション)

2014年8月24日 ムスカット薬局 本部 ムスカットホール

- 家庭医療専門薬剤師レジデンシー開始
家庭医の指導のもと保険薬局薬剤師として、保険薬剤師業務の習得と家庭医療専門薬剤師として必要な知識・技術・臨床経験を習得し、地域医療に貢献できる薬剤師を養成

第6期 抜本改革報告(イノベーション)

2015年8月23日 ムスカット薬局 本部 ムスカットホール

- 職員年度表彰規定作成
コントリビューション・アワード(Contribution Award)
ムスカット・アワード(Muscat Award)
グッド ジョブ・アワード(Good Job Award)
チャレンジ・アワード(Challenge Award)
- 資格保持・所属学会に関する評価規定作成
資格保持・所属学会・学会発表・論文投稿等により5段階評価

第7期 抜本改革報告(イノベーション)

2016年8月28日 ムスカット薬局 本部 ムスカットホール

- 新3年後のビジョンと戦略発表(2016年度)
 - 1.健康サポート薬局としてセルフメディケーションの支援
 - ・健康サポート機能の充実
 - 2.かかりつけ薬剤師・薬局の役割
 - ・他職種協働による質の高い在宅医療の提供
 - ・服薬情報の一元管理・継続的把握による薬学的管理・指導
 - 3.組織化した人材育成
 - ・高度な薬学的管理ニーズへの対応
 - ・魅力的な広報(社内・社外)

第8期 抜本改革報告(イノベーション)

2017年7月23日 ムスカット薬局 本部 ムスカットホール

- バランスト・スコアカード(BSC : Balanced Scorecard)導入
- CSR Reportの作成

特集2 薬局へ行こう！ウィーク

薬局へ行こう！ウィーク

クラスAネットワーク主催の「薬局へ行こう！ウィーク」が6月1日(金)～6月7日(木)に全国で一斉に開催されました。2年目となる今年は1年目を大きく上回る全国841件の薬局が参加する大イベントとなり、大変な賑わいとなりました。マスカット薬局も全店舗が参加し、6月1日に開局した穂浪店では、オープンイベントを兼ねて実施しました。骨密度測定や肌チェック、また試飲試食を通じて薬剤師・管理栄養士による健康・栄養相談などを行いました。



参加型健康イベント

各店舗では工夫をこらしたイベントを行いました。店舗合同でスタンプラリーを行ったり、アロマセラピストによるアロマ講座・アロマスプレー作りを行った店舗、指先を積極的に動かす事で脳の活性化に繋がる貼り文字・貼り絵などを行った店舗など様々です。

参加された皆さんはとても楽しそうにされていて笑顔が溢れていました。



貼り文字・貼り絵



アロマ体験



健康チェック

物忘れ相談プログラムや骨密度測定、塩分チェックなど実施。また新たにフレイル予防の握力測定や、肌チェックなど健康アドバイスをふまえて行いました。多くの参加者から「健康状態がわかってよかった！」などと喜んで頂きました。



試飲試食

もちり麦や黒酢、甘酒、オーエスワンなどを試飲試食して頂き、栄養相談などのアドバイスを実施。「気になる商品が色々飲めて良かった！」「また参加したい」などと好評でした。



ドイツ薬学視察2018



6月7日に開催される“ドイツ薬局の日”にあわせて6月4日(月)～6月9日(土)の4泊6日間、一般社団法人 日本コミュニティファーマシー協会主催(吉岡ゆう子代表)のドイツ薬学視察に2名が参加いたしました。

ドイツの医療制度や薬局の日々の運営、そして調剤業務や販売業務だけでなく、どのようにしてドイツ国民のための「いきつけ薬局」として地域へ根ざした活動を行い、国民の信頼を得ているかを自身の目でみて体験し、そして今後どのように活かしていくかとういことを目的として参加しました。

主な視察地はハイデルベルク、ロッテンベルク、チュービンゲン、シュヴェービッシュ・グミュントです。そして各薬局、ドイツ薬事博物館、ハイデルベルク大学病院、高齢者施設、医薬品メーカーの農園などを見学しました。

ドイツの薬局には統一のマークがあり、どこに行ってもすぐに薬局を見つけることができます。白地に赤字で大きくゴシック体で「A」と書かれており、その中には、「ヒュギエイアの杯」と呼ばれる蛇が巻きついた白い薬杯が描かれています。「A」はドイツ語で薬局を意味するApotheke(アポテーケ)の頭文字であり、「薬杯」は薬剤師が取り扱う薬を象徴しています。



ドイツ薬事博物館 薬箱と薬瓶の陳列

ドイツ薬事博物館はハイデルベルク城内にあり、ドイツで最も美しいルネサンス建築のひとつです。10のテーマに沿ってルネサンス期から20世紀までの薬事の歴史、そしてドイツの薬剤師教育の変遷、調剤道具類、古来の薬など約2万種類もの収集品が展示されていました。ドイツは医薬分業及び保険制度発祥の国であり、薬学の歴史とルーツにふれる事ができました。

ドイツの薬局では調剤室以外にも検査実験室や相談室、輪番制の24時間対応による夜勤者宿泊室などの設置も義務付けられています。そして機械化がとても進んでいて、処方箋スキャナーや自動ピッキングマシン、デジタルウォールディスプレイなどを導入している薬局が増えています。また多くのPTAと呼ばれる薬学技術アシスタントが活躍している点など大きな違いがありました。

6月7日は「ドイツ薬局の日」にあたり、全薬局が一丸となって薬局の重要性をアピールするイベントデーです。訪問先の薬局でも試飲や手品、人形劇などを行い店内はとても賑わっていました。国民は誰でも気軽に健康に関する事は薬局に相談できる環境にあります。それはドイツの薬局・薬剤師は「国民の健康を守る医薬品の専門家」というマインドを忘れず、業務の効率化とサービス・学術面の向上を図り、信頼される「いきつけ薬局」を築いているからです。



ドイツ薬局の日 薬局イベント



夕食会

連日早朝から吉岡ゆうこ先生には、薬局・病院・高齢者施設・製薬会社といった医療分野の視察だけでなく、各街の見どころや歴史、生活環境などとても詳しく説明頂きました。短期間でありましたが歴史と文化そして哲学に触れることができました。また、今回参加されていた他の薬局の方々とも情報共有や、たくさんの刺激を頂きとても有意義な研修でした。今後ますます高齢者が増加し、在宅医療等に対する薬局・薬剤師の対応も多様化していくと思います。多職種連携も含め環境変化に対応していかなければなりません。お客様、患者様の目線になり地域の健康を担うべく、より健康なライフスタイルを提案していく環境作りを目指していききたいと思います。



学会参加を通じて、より深い専門知識の取得とより広い視野を持った薬剤師の育成につなげています。

1. 薬剤師 発表一覧

第2回日本薬学教育学会大会

2017年9月2日～3日 名古屋

- 保険薬局における専門薬剤師教育—家庭医療専門薬剤師レジデンシーの構築—
・小川壮寛, 松下明, 守安洋子, 豊田英二, 大門友博, 中山元, 川上茂利, 藤本浩之, 杉浦聡, 江川孝, 高見陽一郎, 高橋正志

第77回国際薬剤師・薬学連合国際会議

2017年9月10日～14日 ソウル(韓国)

- The practice and verification for Collaborative Drug Treatment Management between community pharmacy and clinic in community healthcare in Japan
・Takehiro Ogawa, Akira Matsushita, Hiroshi Akura, Kenichi Shimada, Takashi Egawa, Yoichiro Takami, Hiroko Moriyasu, Masashi Takahashi



第7回日本認知症予防学会学術集会

2017年9月22日～24日 岡山

- 保険薬局と高齢者支援センターとの連携による地域住民の認知症早期発見
・安倉央、白神千枝美、佐藤純子、本郷浩子、北見章、猪原達也、爾見慶子、堤奈央、山下梨紗、守安洋子、高橋正志

第50回日本薬剤師会学術大会

2017年10月8日～9日 東京

- 多職種連携による認知症早期発見の仕組み作りに向けた取り組み
・安倉央、北見章、猪原達也、爾見慶子、堤奈央、山下梨紗、守安洋子、高橋正志

第55回日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会 中国四国支部学術大会

2017年10月21日～22日 徳島

- 地域の薬局でプライマリ・ケアを実践できる薬剤師になる(第2報)
～レジデント第2期生による薬局での取り組み～
・河南真依, 松下明, 豊田英嗣, 小川壮寛, 守安洋子, 中山元, 賀来敦, 川上茂利, 藤本浩之, 島田憲一, 高見陽一郎, 江川孝, 高橋正志

第27回日本医療薬学会年会

2017年11月3日～5日 千葉

- 地域医療における共同薬物治療(CDTM)にむけた取り組み(第5報)
CDTM導入による疑義紹介業務の改善
・小川壮寛, 松下明, 守安洋子, 田中綾, 河南真衣, 中島利裕, 中尾直, 江川孝, 島田憲一, 高見陽一郎, 高橋正志
- 在宅医療への移行において薬局薬剤師が連携の要となった1症例
・杉浦聡, 懸山啓太, 安野和浩, 岡野美香, 数本佳弘, 守安洋子, 高橋正志



第12回日本緩和医療薬学会年会

2018年5月25日～27日 東京

- 老老介護の終末期患者在宅看取りに薬局薬剤師が介入した1症例
・杉浦聡, 守安洋子, 高橋正志

第9回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

2017年6月16日～17日(金) 津

- 「家庭医療専門薬剤師レジデンシー」を研修して(その3)
～レジデント2期生による薬局での多職種連携～
・河南真依, 松下明, 小川壮寛, 守安洋子, 豊田英嗣, 川上茂利, 大門友博, 藤本浩之, 田中綾, 江川孝, 島田憲一, 高見陽一郎, 高橋正志
- 地域の薬局でプライマリ・ケアを実践できる薬剤師になる(第4報)
～家庭環境が患者の健康に影響する～
・田中綾, 松下明, 小川壮寛, 守安洋子, 中山元, 河南麻依, 山崎桃子, 江川孝, 島田憲一, 高見陽一郎, 高橋正志



2. 管理栄養士 発表一覧

第64回日本栄養改善学会

2017年9月13日～15日(金) 徳島

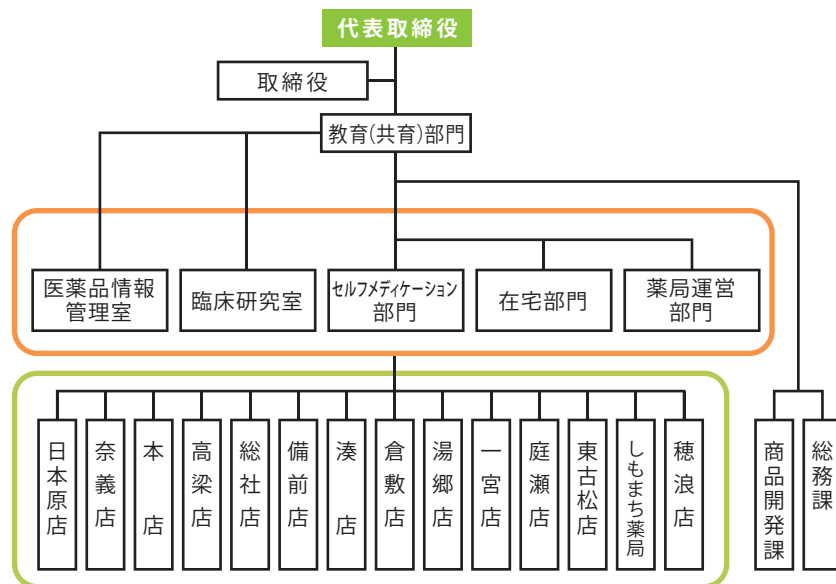
- 腎不全患者への継続的な栄養指導
・西垣沙耶
- 保険薬局への管理栄養士の必要性～地域の健康サポート薬局を目指して～
・石和田光

組織体制

私たちマスカット薬局は、『地域の一人ひとりの生命・健康を守るため、主体性をもって社会貢献する』ことを経営目的としています。職員一人ひとりが地域のお客様に対しより質の高いサービスの提供・安心してご利用いただけるための信頼関係の構築ができるよう会社全体で支援するための組織体制を整えています。

職員教育を行う教育（共育）部門、薬学的支援を行う医薬品情報管理室・

臨床研究室・在宅部門、O T C 医薬品・衛生材料等の販売・支援を行う商品開発課・セルフメディケーション部門、店舗運営の支援を行う、総務課・薬局運営部門があります。



教育（共育）部門

理念に沿って、社員の一人ひとりが会社の貴重な財産であると考えています。そのため「人材育成」に最も重点をおき、職員一人ひとりの自主性・主体性を重んじた、あらゆる角度からの教育に取り組んでいます。

薬局運営部門

地域の幼稚園、小学校、中学校での環境衛生維持や薬局での調剤ミス・調剤過誤ゼロを目指した活動を行っています。

セルフメディケーション部門

店頭での適切な医薬品販売のサポートとお客様のニーズに則した商品選択の支援を行っています。

在宅部門

高齢者人口の増加に伴い、在宅医療の重要性はますます増加しています。全店が在宅医療に取り組む中で、より質の高い在宅医療サービスの提供が出来るよう情報共有や情報提供を行っています。

医薬品情報管理室

医薬品や健康などに関する多くの情報を収集・整理し、健康維持や有効かつ安全な薬物療法を実施していただくため、ニーズに応じた情報を正確・迅速に提供・伝達しています。よりそう ささえあう 笑顔が広がる マスマス健康 マスマス笑顔 をモットーに！！

臨床研究室

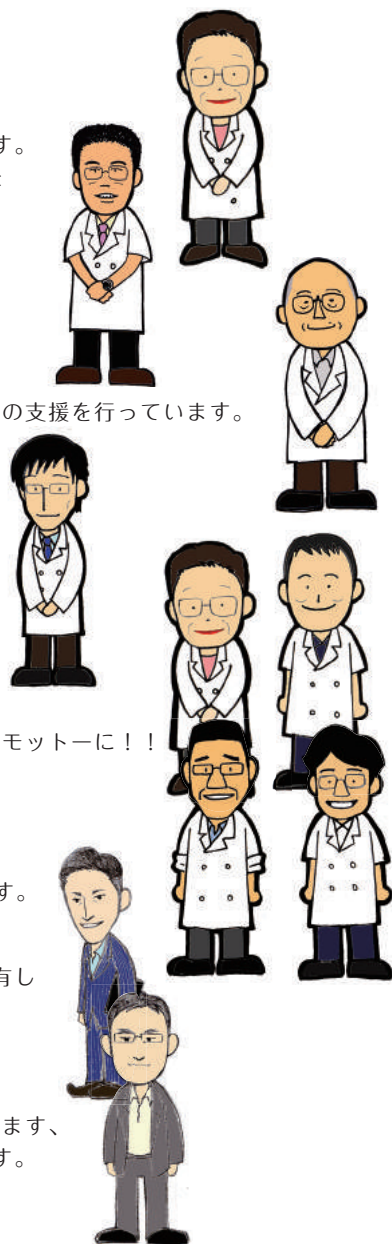
マスカット薬局の様々な活動、取り組みや研究が地域の健康・医療の質向上に寄与していることを、“エビデンス”という形で、学会や学術論文を通じて全国に発信していきます。

商品開発課

店頭における商品の仕入交渉や販売企画の立案。商品情報や販売動向を共有しO T C 医薬品及び物品販売のサポートを行っています。また各種イベントを通じて地域の方々の健康をサポートしています。

総務課

主に薬局の施設基準の許可申請や各種申請紙作成及び管理を行っています、また企業ホームページの管理・更新やC S Rレポートの作成も行っています。職員が薬局業務に注力できるようサポートしています。



店舗運営

私たちマスカット薬局は、2018年6月に開局した穂浪店を含め岡山県に14店舗展開しています。『かかりつけ薬局』としての役割を果たすため、地域の医療機関や介護施設等と連携し皆様の健康を守るため活動しています。



ワークライフバランス

世の中には一人として同じ人間はいません。多様な個性の人たちが企業を構成しています。そして組織を支える仕組みは、いのちを支える仕組みと全く同様であります。会社がひとつの意志をもった生命体だと言う考え方が、わが社の経営理念である「命ある企業」であります。

今年度の短時間勤務社員は5名。残業時間は1人平均月2.38時間

リフレッシュ休暇取得制度

入社後10年を経過した職員、または、管理職職員を対象として連続10日間のリフレッシュ休暇制度を設けています。日々の業務からはなれ、ゆっくりと休暇を楽しむことで、心身ともにリフレッシュし、また新たな気持ちで業務に取り組むことを目的とした制度です。

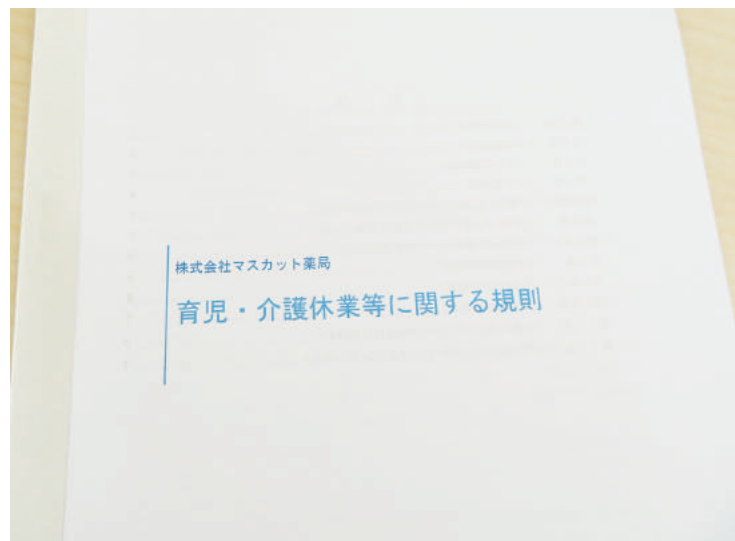
2017年度の利用者は2名でした。

2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
1名	1名	1名	1名	0名	2名

育児・介護休業制度

マスカット薬局では、育児・介護休業等に関する規則を整え、仕事と育児・介護の両立が出来るよう支援しています。

2017年度の育児休業の利用者は4名



再雇用制度

60歳定年者に対しては、定年の半年前に事前に再雇用に関する説明を行います。

雇用保険の手続き、年金の請求、退職金など様々な説明を行い、ライフプランの一助としています。

今年度の該当者はあらたに1名、再雇用勤務者は総数3名

2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
0名	0名	1名	2名	2名	3名

障がい者雇用

障がいを持った方々がいきいきと働ける職場環境を整備しており、業務に従事しています。

女性管理職について

マスカット薬局では、管理職(管理薬剤師以上の役職)になるためには、性別によらない客観的な判断を基準としています。

管理薬剤師の条件として、薬に関する知識はもちろんの事、薬事関連法規の知識と理解、レセプトや医療保険についての知識、また、薬局運営の管理能力と高いコミュニケーション能力を必須としています。

現在、5名の女性管理職者がいます。管理職数の28%に当たります。

2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
3名	5名	4名	4名	5名	5名

ハラスメント防止

パワーハラスメント、セクシャルハラスメント等職場のハラスメントは職場環境の悪化となり、大変なダメージに繋がります。

ハラスメントに関する学習会を開催し、明るい職場づくりに努めています。社外研修に2名が参加しました。

2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
0名	0名	0名	0名	2名	2名

トップとの定期的面談

職員一人ひとりと代表取締役、教育部門長とで、個人面談を毎年4～5月に定期的に行っています。面談では、理念・目的・方針や個人目標を中心に、振り返りシートにより1年間を振り返りながら成長度をお互いに確認。その結果をふまえて、職員一人ひとりの希望を聞きながら、次年度の目標を考え、働きやすい職場環境づくりを行っています。

定着率・離職率

創業20年を迎える、私たちマスカット薬局は「命ある企業」を理念としています。

また、5つの基本方針として、本部と店舗、店舗内の信頼関係に重きを置き、信頼関係があるからこそより良い薬局サービスを提供できると考えています。

離職率は13%

家庭医療専門薬剤師シジデンシー

実際に家庭医療を行っている家庭医から医療にたいする視点や考え方の指導を受けます。

保険薬局薬剤師業務を習得した後、家庭医療専門薬剤師として必要な知識や技術、態度を習得します。そして、臨床経験を積み重ねることにより、要指導医薬品、一般用医薬品(Over the counter drugs:OTC医薬品)を使用するセルフメディケーションで十分なのか、医師による治療が必要なのかを判断する知識や技術を備え、正しく受診勧奨を行い、地域医療に貢献できる薬剤師を育成します。



事務研修会

事務研修会は、事務員を対象に2018年2月18日(日)に開催しました。「各店舗目標の振り返り」発表と、個人目標「地域の一人ひとりの健康を守るための主体性をもって社会貢献を果たす」、「4月調剤報酬改定について私達は何をするか、取り組むべき課題」と題してグループ討論しました。研修で学んだことを参考に各店舗で取り組んでいます。



薬剤師研修会

薬剤師研修会は、薬剤師を対象に2018年2月25日(日)に開催しました。会社にとって大切な理念・目的についての講演がありました。その後、「健康サポート薬局としての役割を果たすには」、「薬剤師として果たすべき対人業務と調剤報酬の今後を考える」というテーマで討論を行いました。対物から対人へと、薬局薬剤師が行うべき業務の変化について、現在行っている仕事を振り返り、より質の高い医療への貢献には何をすべきか様々な意見交換を行いました。国が求める仕事だけではなく、医療チームとしての責務をどのように果たしていくのか、各々の考えや物事の捉え方を学べました。



管理者研修会

管理者研修会は、管理者を対象に2018年5月13日(日)に外部講師をお招きし、「検証の大切さ」、「単年度目標の検証方法」についての研修を行いました。また、「健康サポート薬局の取り組みに関して」についてディスカッションをおこないました。未来あるべき姿を明確にとらえ、それを現実にするために現状をしっかりと分析し、未来につなげるために今何をしなければいけないのかを考えて行動することの重要性を学ぶ研修会となりました。



合同研修会

本年度は11月26日(日)に外部講師をお招きして「調剤報酬改定の動向など」と題して合同研修会を行いました。薬局・薬剤師を取り巻く動向を中心に2018年度の調剤報酬改定に向けて、また今後の薬局・薬剤師に求められる役割を学ぶ研修会となりました。



人材育成支援制度

学会参加・発表支援

人材育成を考慮して、職員は毎日、目標をもって業務を行っていただいています。2017年度は、日本医療薬学会年会、国際薬剤師・薬学連合国際会議、日本薬学教育学会大会、日本プライマリ・ケア連合学会学術大会、日本緩和医療薬学会年会、日本認知症予防学会学術集会、日本薬剤師会学術大会、日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会中国四国支部学術大会、おかやま薬学フォーラム、日本栄養改善学会学術総会において13件の発表を行いました。



大学院博士課程支援

専攻分野について、研究者として研究活動を行い、また、専門的な業務に従事するに必要な研究能力およびその基礎となる豊かな学識を養うことを目的として学べるよう支援しています。そして、研究により、医療の質向上に貢献できるよう努力しています。

2017年度は、2名在学中です。

2016年度までにこの制度を使用しての博士号学位取得者は1名です。

各種認定薬剤師資格取得

- ・日本医療薬学会認定指導薬剤師(1名)
- ・日本医療薬学会認定薬剤師(1名)
- ・日本プライマリ・ケア認定薬剤師(4名)
- ・漢方薬・生薬認定薬剤師(2名)
- ・NST専門療法士(1名)
- ・公認スポーツファーマシスト(3名)
- ・日本在宅薬学会公認ディレクター(2名)
- ・日本薬剤師研修センター認定薬剤師(29名)
- ・JPALSレベル6(4名)
- ・JPALSレベル5(17名)
- ・緩和薬物療法認定薬剤師(1名)
- ・日本認知症予防学会認知症予防専門士(1名)
- ・日本薬局学会認知症研修認定薬剤師(1名)

NST専門療法士とは、

一般社団法人日本静脈経腸栄養学会の認定資格、『栄養サポートチーム専門療法士』の事です。

JPALSとは、

日本薬剤師会が運営する生涯学習支援システムの事です。クリニカルラダー(CL)という段階制であり、CLはレベル1～6までが設定されており、CLレベル1を新人薬剤師程度、CLレベル5を管理薬剤師程度となります。

人事評価制度

全職員に対し多能者を目指して、資格・認定を取得することを奨励しています。取得者に対し、5段階評価を行い、資格手当を支給しています。教育部門は、資格・認定取得に関する情報を会社内に周知し、年度計画に基づいて支援しています。

2017年度の評価対象者

薬剤師：B段階1名、C段階1名 管理栄養士：E段階1名 事務：D段階1名

表彰制度

諸々の活動を通じて会社に貢献し並びに成長した社員を、毎年行われるイノベーション発表会後の懇親会場で授賞式を行います。今年度は、4名と1店舗が受賞されました。

コントリビューションアワード：

優れた業績と創意工夫に溢れる活動により成果をあげ、自分自身の研鑽に努め、会社の発展に貢献

マスカットアワード：

会社の理念に基づき、業績をあげ理念の実現に貢献

チャレンジアワード：

新規分野や新しいことに積極的に取り組み会社の発展に貢献

グッド・ジョブアワード：

担当業務に特に功績をあげ会社の発展に貢献



重大リスク対策 (社内チェック体制)

医薬品の業務に係る医療の安全を確保するため、「医療安全管理指針」を策定しています。

調剤事故などが発生した際には、適切に対応するため、調剤事故などの情報が、全職員から開設者に速やかに報告される体制を整備しています。また、重要なインシデント事例については、社内で情報を共有し、同じ事例を繰り返さないよう対策を行っています。

社内研修として、年2回全職員を対象とした医薬品の安全管理のための研修会を実施しています。

